



# 「認定こども園」ってなに？



町では、「幼保連携型認定こども園」の設置の検討を進めており、令和7年度からの開園に向け、保護者に対する検討状況説明会や座談会を行いました。

会の中では、こども園の在り方や設置に向けたスケジュールなどの報告が行われた他、保護者からの意見や設置に係る質疑応答などが交わされました。只見町教育委員会は、設置について様々な意見を吸い上げるため、引き続き、保護者や関係者に対して、説明会や座談会を行う予定です。



## ☆「認定こども園」とは

幼児教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを合わせもっています。

近年、共働き世帯の増加に伴い、保育所に入りたいけど入れない「待機児童」が増加し、社会問題となりました。このような問題を解消するために考えられたのが、「幼保一元化」です。

これまで、保育所は共働き世帯しか入れず、幼稚園は働く親には保育時間が足りないという問題がありました。

そのため、保育園や幼稚園を認定こども園にすることで、それぞれの入園条件を緩和し、子どもの受け入れを広げることが可能となります。

認定こども園には、

- ① **「幼保連携型」**… 幼稚園的機能と保育所的機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園の機能を果たす。内閣府の定める「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいた保育・教育を行う。
- ② **「幼稚園型」**…… 認可幼稚園が、保育の必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備える。3～5歳児では、幼稚園教育要領に基づく幼児教育を行う。
- ③ **「保育所型」**…… 認可保育所が、保育が必要なこども以外も受け入れるなど、幼稚園的な機能を備える。保育所保育指針に基づき、保育を行う。
- ④ **「地方裁量型」**… 認可された幼稚園・保育所以外の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たす。待機児童解消等を目的に自治体の裁量によって、認定こども園と認めた保育施設。

の4つの型があります。

①「幼保連携型」は、保育教諭の配置が必須です。(保育教諭：幼稚園教諭の免許状と保育士資格を併有)

②から④は、満3歳未満の保育については保育士資格が必要となります。満3歳以上の保育については幼稚園教諭と保育士資格の併有が望ましいとしておりますが、いずれかでも可です。

## ☆「幼保連携型認定こども園」になることで

幼保連携型認定こども園の場合、次のような利点が挙げられます。

- 就労条件に関わらず入所させることができる
- 育休中でも退所しなくてよい（先に入所している兄弟がいる場合）
- 小学校以降の学習や生活の基盤となる幼児期の「教育(三歳以上児)」と、保護者が就労しているなど保育が必要な子どもへの「保育」の両方を受けることができる



検討状況の進捗確認やご意見につきましては、教育委員会子ども未来係までご連絡ください。

只見町教育委員会 子ども未来係

TEL : 0241-82-5320 FAX : 0241-82-2337

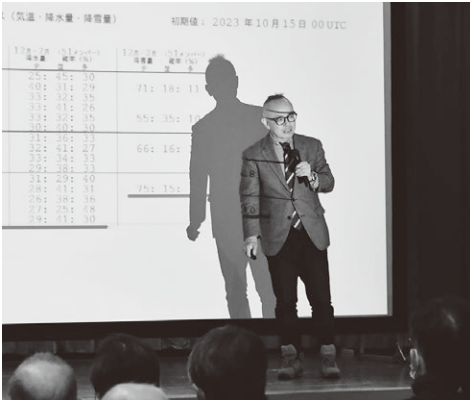
Mail : kodomo@town.tadami.lg.jp



気象予報士 斎藤恭紀氏が解説  
防災減災講演会開催

福島テレビで気象予報士を務める斎藤恭紀氏を講師に講演会「教えて！斎藤さん 只見のこの冬の雪は？ 未来の災害リスクは？」が、11月26日に季の郷湯ら里で開催されました。冒頭では、週間予報やクイズを行うなど、和やかな雰囲気での講演会が始まりました。

斎藤氏は、豪雪や暖冬となる仕組みなどを解説した上で、「今年は暖冬になると予想されますが、暖冬でも寒波はきますので、それに対する備えはしておいてください」と話しました。また、地震災害などの解説の他、水害にも触れ、「身近な避難場所を確認してください」と伝えました。



▲降雪時や水害時のための備えについて講演された斎藤氏

只見町の素材を生かしたPRをするために  
「食のPR講演会」開催

TikTokなどのSNSや各種メディアで活躍しているインフルエンサーの「フォーリンデブはっしー」氏を講師に「食のPR講演会」が、12月7日に只見公民館で開催されました。

講演会では、只見町にある素晴らしい「食」を広く知ってもらうため、PRの基本的な考え方やSNSの使い方などについて講演されました。はっしー氏は、「只見町には既に素晴らしい素材があります。SNSでは、飾らずにシンプルに美味しさを伝えることが大事です」と参加者に伝えました。



▲はっしー氏は「自分も只見町のために全力投球します」と伝え、大盛況のうちに講演会を閉じました

土木学会が認定  
「只見川ダム施設群」が  
選奨土木遺産に認定

土木学会の選奨土木遺産に、「只見川ダム施設群」を新たに認定したことが、9月25日に発表されました。福島県内の認定は9件目になります。「只見ダム施設群」は檜枝岐村の奥只見ダム、只見町の大鳥ダム、田子倉ダム、金山町の滝ダム、本名ダム、上田ダム、三島町の宮下ダム、柳津町の柳津ダム、会津坂下町の片門ダムの9カ所からなっており、いずれも只見川に設置されている水力発電用ダムで完成から50年以上が経過しています。



▲田子倉発電所の栗崎所長から認定証と選奨記念銘板が伝達されました

地元に変えられるファミリーグレンデ  
「只見スキー場オープン式」開催

只見スキー場のオープン式が、12月23日に開かれました。

式ではスキー場を運営する会津ただみ振興公社の新國社長が「安全が最大のサービスというモットーで運営していきます。皆様に安心して楽しんでいただけますように取り組んでいきます」とあいさつしました。

安全祈念の献杯は、大塚町議会議長の発声で行われました。なお、冬期間中は、ロッジ内のレストランやまびこは無休で営業となります。



▲来賓や関係者によるテープカットでオープンを祝いました